

定例公安委員会の開催状況について

令和5年10月5日に、第27回定例山形県公安委員会が開催されました。議事の概要は次のとおりでした。

1 特殊詐欺に利用された電話番号の無力化に向けた取組について

特殊詐欺に利用された電話番号の無力化に向けた取組について報告があった。

委員のコメント

- 今年の利用停止等要請件数が昨年の倍に上り、電話番号の無力化への取組推進により、特殊詐欺被害の抑止対策として功を奏しているものと評価する。職員の士気高揚を図りながら今後も積極的に取り組んでほしい。
- 犯行に利用された電話をいち早く無力化することは被害拡大を防止する初動措置として重要な対策である。本県でも全国同様、特殊詐欺被害が増加していることを深刻に受け止め、対策の強化を図ることが必要である。いかに迅速に特殊詐欺を防ぐかという実効性を念頭に、警察庁や関係機関と連携の上、特殊詐欺の防止に全力を挙げてほしい。
- 被害を防止するには広報が重要である。また、特殊詐欺のほか、SNS利用詐欺などにおいても、一度敢行された電話や不審な相手方の電話番号を無力化することは再犯を防ぐ上でも重要な対策である。また、電話番号の無力化のほかにも、犯罪防止に有効な対策を検討してほしい。

2 沿岸部における警備諸対策について

沿岸部における警備諸対策について報告があった。

委員のコメント

- 沿岸警備協力会など多くの方々の協力を得て、海岸線が守られていることを再認識した。引き続き関係機関と連携し、沿岸部を守ってほしい。
- 本県は、日本海に面しており密出入国などのリスクがあるという認識のもと、警戒活動や、密航の監視については、沿岸警備協力会との連携等総合的な警戒体制が必要である。また、今後酒田港への大型クルーズ船の入港、外国船籍の船舶の入港の増加が見込まれ、寄港時の警戒体制の確保が重要である。
- 警察は関係機関団体との連携無くして業務目的の達成は難しくなっている。今後も、関係機関と連携して協力していく体制を継続してほしい。